

平成23年行政事業レビューシート										(外務省)	
事業名		原子力供給国グループ(NSG)関係経費			担当部局庁		軍縮不拡散・科学部			作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度		平成12年度			担当課室		不拡散・科学原子力課			課長 實生 泰介	
会計区分		一般会計			施策名		Ⅱ-2 軍備管理・軍縮・不拡散への取組				
根拠法令 (具体的な条項も記載)		外務省設置法第4条第1号イ及びロ、2、3号			関係する計画、通知等		—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		NSGは、核兵器開発に使用されうる原子力関連資機材等の輸出管理を通じて、核兵器の拡散を防止していくことを目的とする国際輸出管理レジームであり、その活動に積極的に参加することにより、国際的な核不拡散体制を強化する事を目的とする。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)		NSG総会、協議グループ(CG)会合、情報交換会合等の会合出席を通じ、我が国の政策を適切に議論に反映させるため、本省より担当課長及び担当官を出張させる。また、NSGに関する全ての情報・文書は、NSG情報共有システム(NSG Information Sharing System(NISS))を通じてのみ参加各国に配信されており、NSGでの議論に的確に対応するために、同システムの端末を利用する。									
実施方法		■直接実施 ■業務委託等 □補助 □貸付 □その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)				20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求			
		予算 の 状 況	当初予算	3	3	2	0.4	0.4			
			補正予算	—	—	—	—				
			繰越し等	—	—	—	—				
			計	3	3	2	0.4	0.4			
		執行額		3	2	2					
		執行率(%)		119.5%	83.0%	64.5%					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
		NSG会合において各種議題の合意又は進展(年平均約15件)及びNSGガイドライン規制リストの改訂作業の合意又は進展(年平均3件)を達成する。			成果実績	合意・進展数	15(18)	17(18)	17(18)	18	
					達成度	%	83	94	94		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
		2010年6月の総会に、本省より課長及び担当官1名が出席した。また、上記NISSシステムを利用し、各種情報収集及び分析に努めた。			活動実績 (当初見込み)	回数	6回(会議) 200回/年 (NISS使用頻度)	3回(会議) 200回/年 (NISS使用頻度)	3回(会議) 200回/年 (NISS使用頻度)	— ()	
単位当たりコスト		約53万円(157万9千円／3回)			算出根拠	平成22年度の執行額(157万9千円)を主な会合の回数(3回)で割ったもの。					
平成23 (単位:千円) 予算内訳	費 目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由						
	データ通信料		160	160							
	機器借料		189	189							
	保守関係経費		25	25							
計		374	374								

事業所管部局による点検			
	評 価	項 目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	NSGは、国際的な核不拡散体制をIAEAの保障措置と共に支える重要な柱の一つであり、唯一の被爆国として核不拡散を強力に推進し、かつ北朝鮮の核の脅威に直面する我が国の安全保障環境の維持・改善にとって重要な国際レジーム。また、我が国は世界でも有数の原子力資機材・技術の製造・輸出国であり、これら資機材・技術の輸出管理の政策・規則を策定するNSGの議論は我が国の原子力政策にも大きな影響を与え得る。以上にかんがみ、我が国のNSG関与に見直しの余地はない。NSGの重要性にかんがみ、昨年の総会では、米代表団は14名、露は6名、英は7名、仏は8名、加は6名、独は6名、韓国は6名参加しているが、我が国は最小限の人員で対応している。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	—		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

外務省
1百万円

国際会議参加出張旅費



A. 出張者(2名)
出張者A:0.9百万円
出張者B:0.4百万円

外務省
0.3百万円



【競争性のある随意契約】

B. (株)富士通
ビジネスシステム
0.1百万円

コンピューターシス
テム借料



【競争性のない随意契約】

C. 東日本電信電話(株)
コンシューマ事業推進本
部
0.1百万円

インターネット接続
料



【競争性のない随意契

D. (株) NTT
コミュニケーションズ
0.1百万円

プロバイダー使用料

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)(単
位:百万円)

費目・使途
（「資金の流れ」
においてブロックごとに最大の
金額が支出されている者につい
て記載する。費
目と使途の双方
で実情が分かる
ように記載）

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	国際会議参加	0.9		
2	個人B	国際会議参加	0.4		
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)富士通ビジネスシステム	コンピューターシステム借料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東日本電信電話(株)コ ンシューマ事業推進本部	インターネット接続料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト
D.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)NTTコミュニケーションズ	プロバイダー使用料	0.1	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					